

ルアウトのたびに鶏舎内の清掃・消毒を行っているとのこと。空舎期間は17～18日間程度。

- ⑤ 動力噴霧器は東西エリアの各入口に設置しており、管理人によると、農場に出入りする全ての車両は動力噴霧器による車両消毒を実施しているとのこと。
- ⑥ 管理人によると、鶏舎周辺部には消石灰の散布を普段から行っていたが、今年11月の香川における高病原性鳥インフルエンザの発生以降は、念入りに散布を実施していたとのこと。
- ⑦ 管理人によると、日曜以外のほぼ毎日、飼料運搬会社が飼料搬入のため入場していた。飼料搬入時に使用する車両は当該農場専用トラックを使用していた。立入台帳の記入、入退場時の車両消毒はドライバーが実施しており、車両消毒時の従業員の立ち会いはなかったとのこと。飼料運搬会社の車両及びドライバーの立入場所は飼料タンク付近に限られ、鶏舎内への立ち入りはないとのこと。最終の飼料搬入は12月10日。当該農場の飼料には、動物用医薬品販売業者より納入された添加物を使用しており、添加物は東西エリア間の専用通路内に蔵置されていた。ドライバーは添加物を入れた後、飼料をタンク内に入れていたとのこと。
- ⑧ 管理人によると、当該農場の管理獣医師はいないが、獣医師に相談が必要な場合は動物用医薬品販売会社の所属獣医師に連絡しているとのこと。ただし、高病原性鳥インフルエンザの発生状況を鑑み、最終立ち入り日である10月19日以降は訪問を断っていたとのこと。
- ⑨ 動物用医薬品等の納品は、農場事務所内倉庫にて受け渡しを実施していた。受け渡し時は、車両消毒、専用長靴の使用、踏込消毒槽での靴底消毒および手指消毒を実施していた。最終立ち入りは12月8日。

(エ) 飼養衛生管理基準の遵守状況

令和2年11月20日、津山家保が問題ないことを確認している。

イ. 飼養者、従業員等に関する情報

- ① 当該農場では、15名の正社員、2名のパート職員、4名の外国人労働者（技術員）の計21名が働いている。4人の技術員は1年以上従事しており、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、帰省はしていないとのこと。育雛場に導入した初生ひなの鶏群ごとに、育雛から大雛の出荷まで1人の担当者が決められているが、担当者が休みの場合は別の職員が管理を行っていたため、全ての従業員がいずれの鶏舎においても作業する可能性があるとのこと。担当者については、2名のパート職員を除いて全員が鶏舎担当者になる可能性があるとのこと。
- ② 従業員の割り振りについては、日毎に計画を立てており、事務所における朝礼にて割り振られる。鶏舎内作業以外の担当になった従業員は除糞、外回り

を含む鶏舎洗浄、消毒作業を行っていた。

- ③ 鶏舎内での作業は、朝・夕に鶏の健康観察と死亡鶏の確認、記録は1日分をまとめて行っていた。

(5) 農場及び農場周辺における野鳥等の野生動物の生息状況と侵入防止対策

- ① 発生鶏舎から約200mの距離にあるダム湖ではオシドリ15羽など20羽以上の水鳥類を確認し、シカの糞が多数認められた。約4.1kmの距離にあるダム湖ではオシドリ71羽など100羽以上、約4.3kmの距離にあるダム湖ではオシドリ50羽など70羽以上の水鳥類が確認された。
- ② 当該農場の鶏舎は全てウィンドレス鶏舎であり、外壁や天井に隙間や破損などは認められなかった。排気側の壁には防塵フィルターが、吸気側の壁にはクーリングパッドが設置されていた。
- ③ 管理人によると、農場敷地内でシカはほぼ毎日見かけるが、シカ以外の野生動物は見かけることはないとのことであった。調査時には鶏舎周辺の敷地内においてリスの糞やリスが食べたと思われるクルミの食痕、またイタチ類のものとみられる糞が確認された。常時、殺鼠剤によるネズミ対策を実施しており、管理人によると、鶏舎内でネズミ及びネズミの糞も見かけることはないとのことであったが、調査時には発生鶏舎の吸気側のクーリングパッドにネズミが齧って空けたと思われる穴が確認された。
- ④ 管理人によると、除糞のためのベルトコンベアの投入口は、運転時以外は板で閉じられているとのこと。調査時にも蓋で閉じられているのが確認された。

(6) 人、家きん等の動き

(ア) 家きん等の動き

- ① 雛の出荷：農場従業員により本社農場（兵庫県赤穂市）へ令和2年11月24日、25日、26日、27日に出荷した。
- ② 死亡家きんの処理：死亡家きんは除糞ベルトで鶏舎内から外へ糞と一緒に搬出し堆肥化しているとのことであった。
- ③ 糞等の処理：除糞ベルトで鶏舎内から外へ搬出しダンプで受け堆肥舎へ移動させコンポストで堆肥化。できた堆肥は本社農場へ搬出し袋詰めの後、販売している。

(イ) 人の動き

令和2年11月19日以降に農場に出入りした関係者は以下のとおり。

- ① 飼料運搬業者：11月19、20、21、24、25、26、27、28、30日
12月1、2、3、4、5、7、8、9日
- ② 製菓会社職員：11月25、26、27、30日
12月4、7、8日
- ③ 汚泥処理業者：11月24、25日

④ 電気保安管理会社：12月4日

(7) 疫学サンプル

防疫措置の消毒直前の発生家きん舎内の拭き取り、家きん舎内で回収したネズミの糞など20検体について鳥取大学においてウイルス検査を実施した。いずれの検体からも高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されなかった。

採材場所	採取したサンプル
発生家きん舎 (大雛4号)	2階：餌樋(①③④⑤)、床(⑧)、除糞ベルト(⑨⑩)、 内壁(⑥)、チェーンベルト(②) 1階：餌樋(⑪⑫)、床(⑭⑮)、除糞ベルト(⑮)、内壁(⑬)、 外壁(⑰)、階段手すり(⑦)、ネズミ糞(⑱) クロアカスワブ(⑲)、気管スワブ(⑳)

<発生家きん舎（大雛4号）における疫学サンプル採取場所>



